

令和5年度取組状況

ものづくり工学科

一般科目

教授

永井 誠

	取 組 状 況
教育	(英語Ⅲ) 1. 第4学年のリーディング、第5学年のライティングにおいて、高度で複雑な複合文構造に対応できるように、「SV分析」を導入した。これにより、主語＋述語の様々な接続構造・内包構造が理解できたと思われる。 2. 「TOEIC力」は英語力とイコールではないことを説明し、TOEICで点数を得るための基本的なテクニックを導入した。 (英語Ⅴ) 1. テキストの「英語モード」に基づき、日英語間の発想の違いに対応する英作文活動を行った。 2. 第3学年、第4学年のリーディング指導において実施した「SV分析」活動の応用(裏返し)として「SV構築」活動を実施した。主語＋述語による「意味の骨組み」をまず作り、それを様々なパターンで組み合わせることにより、高学年学生らしい複雑な英文が書けるようになった。
研究	1. 学会発表:「英作文指導における[作文比較メソッド](乾展子、永井誠).」(2023年9月2日 全国高等専門学校英語教育学会第46回研究大会)で、英作文で機械翻訳を積極的に利用する指導法を提案した。 2. 現状ではあまり有益でない「チャンク・リーディング」を有益なものにし、かつ、リスニングに応用する教授法を検討を継続中。
社会貢献	1. 「英語教育新発想」というテーマを教員シーズ集に掲載し、技術相談に応じる体制を整えた。 2. 「コミュニケーションのための英文法」というテーマを掲げ、出前・受け入れ授業に応じる体制を整えた。